



2022 年度日本水文科学会 総会

日時：2022 年 9 月 6 日（火） 10:45 ～ 12:15

場所：京都大学おうぼくプラザ
（京都大学宇治キャンパス内）

次第

1. 議題

1.1 報告事項

- (1) 2021 年度事業報告 (資料 1)
- (2) 2021 年度決算報告 (資料 2)
- (3) 2021 年度会計監査報告 (資料 3)

1.2 審議事項

- (1) 2022 年度事業計画 (資料 4)
- (2) 2022 年度予算案 (資料 5)
- (3) 学会誌発行形態変更に関する提案 (資料 6)
- (4) 学会誌発行形態変更に伴う会費，広告費の変更 (資料 7)

2. その他

- (1) 2022 年度 日本水文科学会表彰について
- (2) 2023 年度 学術大会について
- (3) 本学会の運営に関する議論 (資料 8)
- (4) その他

1.1 報告事項

(1). 2021年度事業報告

A 庶務委員会

(1) 会員管理【国際文献社委託事務】

(2022年3月31日現在)

年度末	名誉 会員	正会員			学生	準会員	小計	賛助 会員	購読 会員
		一般	シニア	永年					
2021年度 (Web会 員内数)	14名	163名 (71名)	11名 (6名)	1名	12名	1名	204 名	3機関	7機関

※書店下ろし含む(内5件が書店下ろし) その他 寄贈6件, 広告会員 2社

(2) 会誌・その他の連絡物の発送【国際文献社委託事務】

発送回数	発送先	発送内容	印刷数	発送数(部数)	発送年月日
第1回	一齐発送	学会誌 51(1)	170部	128件(131)	2021年4月30日
第2回	一齐発送	学会誌 51(2)	170部	131件(134)	2021年9月30日
第3回	一齐発送	学会誌 51(3)	170部	132件(137)	2022年1月7日

(3) 事務業務の一部外部委託

委託先・契約	委託内容
(株) 国際文献社 :	庶務事務・会計事務の一部
さくらのレンタルサーバスタンダード	学会ホームページ, 学会メールアドレスサーバ

B 会計委員会

(1) 会費の徴収

(2) 会務に伴う出納処理

- ・各種請求書類の発行

(3) 会費納入率の向上への取り組み

- ・会費未納者あてに督促状を送付

(4) その他

- ・書店会員への請求

C 編集委員会

(1) 会誌の発行

巻	号	発行年月日	掲載数	
51	1	2021年4月25日(24頁)	4	巻頭言×1, 企画×2, 書評×1
51	2	2021年8月25日(25頁)	4	論文×1, 書評×2, 学会記事×1
51	3	2021年12月25日(35頁)	3	研究ノート×1, 書評×1, 学会記事×1

※掲載数には, 巻頭言, 総説, 論文, 研究ノート, 資料, 企画, 討論, 講演再録, 報告, 書評・紹介, 学会記事, その他を含む。

(2) 投稿受付・査読審査状況: 2021年度: 投稿3, 掲載1, リジェクト1, 掲載待ち1

※特集原稿除く

- (3) 日本水文科学会誌オンライン公開 2021年度 Vol. 51. No.1~Vol.51. No.3
(<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jahs/-char/ja/>)

D 集会委員会

- (1) 総会の開催 2021年10月31日(日) 18:00~19:20 オンライン
- (2) 水文・水資源学会 日本水文科学会 2021年度研究発表会 の開催
2021年9月15日(水)~9月18日(土) 初の合同、オンライン大会
日本水文科学会会員 49名, 水文・水資源学会会員 285名, 非会員 60名。会員のうち24名は両学会に所属(ダブルカウント)。非会員は, 上記のほか国際交流セッションの招待講演者・若手研究者 8名, 「身近な水環境」発表者 7名, 企業展示関係者 6名が参加。総参加者数は 391名。2016~2019年度の両学会それぞれの研究発表会参加者数の和は 324~430名で推移していることから, 2021年度大会の総参加者数は過去の実績とほぼ同様であった。
- (3) 優秀発表賞選考規定の改正, 選考方法の構築, 選考と表彰 (9件)
- (4) 一般公開企画“身近な「水環境」”の開催
- (5) 水文・水資源学会 日本水文科学会 2022年度研究発表会 開催準備
プロポーズセッションの募集と決定, 会告文の作成
【参考】水文・水資源学会 日本水文科学会 2022年度研究発表会
会期: 2022年9月4日(日)~7日(水)
会場: 京都大学宇治おうばくプラザとオンラインのハイブリッド(予定)
大会実行委員長: 京都大学防災研究所 堀 智晴教授

E 企画・広報委員会

- (1) 研究ワーキンググループ 1件
SWATモデルの汎用性向上による流域環境評価への活用ワーキンググループ
代表: 清水裕太(農研機構), 申請額: 5万円/年, 期間: 2年間(2021年7月~2023年6月)
- (2) 災害時緊急調査補助金 なし
- (3) 地球惑星科学連合大会での4学会共催セッション (A-HW20)
代表コンビーナ: コンビーナ: 林 武司(地下水学会), 福士圭介(地球化学会), 榊原厚一・飯田真一(日本水文科学会), 山崎 大(水文・水資源学会・東大)
- (4) 地球惑星科学連合大会での他の共催セッション
「流域生態系における物質輸送と循環: 源流から沿岸まで」代表: 前田守弘, 入野智久, 小野寺真一
- (5) 地球惑星科学連合各種委員会委員の派遣・推薦 (~2022.5.30)
- ・代表者 (会長) 近藤昭彦
 - ・事務局 (庶務委員長) 宮下雄次
 - ・連絡委員 (企画委員長) 町田 功
 - ・環境・災害対応委員 (学会推薦) 林 武司
 - ・教育検討委員 (学会推薦) 上村剛史
 - ・プログラム委員 (学会推薦) 榊原厚一・飯田真一

- (6) 学会ホームページの更新
 - ・ 2021年4月にホームページリニューアル
 - ・ Movable Type から Word Press
- (7) メーリングリスト
 - ・ HDE メーリングリストシステムの運用
- (8) 水文誌ミニ巡検
 - ※ 新型コロナウイルスの影響により中止
- (9) その他
 - ・ マイページでの早期論文，会告・学会記事等の PDF のアップの維持
(編集委員会・庶務委員会)

F 学会賞選考委員会

- a) 学会賞選考委員会・委員の改選
 - (2020年度) 新任：石井委員，杉田（倫）委員の2名
 - (2021年度) 新任：浅井，齋藤，宮越，利部委員の4名
- b) 研究奨励賞
 - (2020年度) 対象者なし
 - (2021年度) 齋藤 圭 会員，安達郁哉 会員
- c) 学術賞
 - (2020年度) 対象者なし
 - (2021年度) 谷口真人 会員
- d) 功績賞
 - (2020年度) 対象者なし
 - (2021年度) 嶋田純 会員

2021年度収支計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

Ⅰ. 収入の部

勘定科目		当年度予算額	収入済額	差	備考
大科目	小科目	A	B	B-A	
会費収入	正会員(一般) 会費	¥ 776,000	¥ 808,000	¥ 32,000	会費¥8,000*101
	正会員(一般web) 会費	¥ 256,000	¥ 264,000	¥ 8,000	会費¥4,000*66
	正会員(シニア) 会費	¥ 24,000	¥ 22,000	¥ -2,000	会費¥4,000*5.5(含預かり金)
	正会員(永年) 会費	¥ -	¥ -	¥ -	会費¥50,000
	正会員(永年web) 会費	¥ -	¥ -	¥ -	会費¥20,000
	学生会費	¥ 12,000	¥ 10,000	¥ -2,000	会費¥1,000*10
	準会員会費	¥ 1,000	¥ -	¥ -1,000	会費¥1,000
	購読会員会費(書店販売含む)	¥ 156,000	¥ 202,000	¥ 46,000	購読¥14,000*5(書店¥12,000*11)
	賛助会員会費	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	一口¥20,000 3社5口
	小計	¥ 1,325,000	¥ 1,406,000	¥ 81,000	
大会収入	大会収入	¥ 100,000	¥ 428,280	¥ 328,280	
雑収入	利息収入	¥ 26	¥ 21	¥ -5	
	学会データベース	¥ 60,000	¥ 100,903	¥ 40,903	著作権料
	バックナンバー売り上げ	¥ -	¥ -	¥ -	
	広告ほか	¥ 70,000	¥ 70,000	¥ -	2社(¥40,000+¥30,000)
	別刷り・カラー超過ページ	¥ -	¥ -	¥ -	
	寄付金	¥ -	¥ -	¥ -	
小計	¥ 130,026	¥ 170,924	¥ 40,898		
科目計		¥ 1,555,026	¥ 2,005,204	¥ 450,178	
前期繰越収支差額		¥ 3,720,404	¥ 3,720,404	¥ -	
合計		¥ 5,275,430	¥ 5,725,608	¥ 450,178	

Ⅱ. 支出の部

勘定科目		当年度予算額	支出済額	残額	備考
大科目	小科目	A	B	A-B	
大会支出	大会補助	¥ 200,000	¥ 200,000	¥ -	
	大会追加補助	¥ -	¥ -	¥ -	
	プログラム,ホスカー,要旨集印刷費	¥ -	¥ -	¥ -	
	交通費	¥ -	¥ -	¥ -	
	小計	¥ 200,000	¥ 200,000	¥ -	
会誌発行費	会誌印刷費	¥ 900,000	¥ 729,047	¥ 170,953	51巻1-3号(3冊),編集業務
	通信運搬費	¥ 100,000	¥ 57,672	¥ 42,328	会誌送料
	会議費	¥ 10,000	¥ -	¥ 10,000	
	消耗品費	¥ 3,000	¥ -	¥ 3,000	
小計	¥ 1,013,000	¥ 786,719	¥ 226,281		
管理費	印刷費	¥ 5,000	¥ -	¥ 5,000	
	通信運搬費	¥ 10,000	¥ 144,239	¥ -134,239	送料
	消耗品費	¥ 2,000	¥ 936	¥ 1,064	
	会議費	¥ -	¥ -	¥ -	
	交通費	¥ -	¥ -	¥ -	
	業務委託費	¥ 450,000	¥ 428,264	¥ 21,736	会員業務,会誌発送業務
	HP改修費	¥ 410,000	¥ 410,971	¥ -971	
	雑費	¥ 5,000	¥ 3,434	¥ 1,566	振込手数料
小計	¥ 882,000	¥ 987,844	¥ -105,844		
選挙費	選挙事務委託費	¥ 50,000	¥ 116,992	¥ -66,992	
その他	ワーキンググループ補助ほか	¥ 50,000	¥ -	¥ 50,000	
	地球惑星科学連合年会費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ -	
	HRL分担金	¥ 100,000	¥ 90,065	¥ 9,935	
	表彰費	¥ 20,000	¥ -	¥ 20,000	
小計	¥ 180,000	¥ 100,065	¥ 79,935		
科目計		¥ 2,325,000	¥ 2,191,620	¥ 133,380	
次年度繰越金		¥ 2,950,430	¥ 3,533,988	¥ -583,558	
合計		¥ 5,275,430	¥ 5,725,608	¥ -450,178	

2021年度貸借対照表


2022年3月31日時点

勘定科目	金額	勘定科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
預金		未払金	
ジャパンネット銀行	¥ 2,329,988		
ゆうちょ銀行	¥ 1,204,000	負債合計	¥ -
		III 正味財産の部	
		前期繰越正味財産	¥ 3,720,404
		当期正味財産増加額	¥ -186,416
		正味財産合計	¥ 3,533,988
資産合計	¥ 3,533,988	負債及び正味財産合計	¥ 3,533,988

令和4年7月15日

日本水文科学会 会長 殿

日本水文科学会
令和4年度会計監査委員

安原正也 

会計監査報告書


監査委員は、監査証明を行うため日本水文科学会令和3年度の会計報告に関する収支計算書、帳簿等を監査しました。

監査の結果、令和3年3月31日現在の収支状況を適正に表示しているものと認めました。

令和4年6月22日

日本水文科学会 会長 殿

日本水文科学会
令和4年度会計監査委員

井岡聖一郎 印 

会計監査報告書

監査委員は、監査証明を行うため日本水文科学会令和3年度の会計報告に関する収支計算書、帳簿等を監査しました。

監査の結果、令和3年3月31日現在の収支状況を適正に表示しているものと認めました。

1.2 審議事項

(1) 2022年度事業計画

A 庶務委員会

- (1) 学会業務用メーリングリストの管理
- (2) 会員名簿の管理【国際文献社委託事務】

【契約項目】

契約・委託先	委託内容	期間
(株) 国際文献社	庶務事務・会計事務の一部	2022.04.01～2023.03.31
さくらのレンタルサーバ スタンダード	学会ホームページ，学会メールアド レスサーバ	2022.04.01～2023.03.31

B 会計委員会

- (1) 会費の徴収（4月）
- (2) 会務に伴う出納処理
- (3) 会費未納者への督促（12月）

C. 編集委員会

- (1) 会誌の発行：第52巻1号から第52巻3号（3冊）
- (2) HRL 運営委員会への委員派遣 林 武司

D. 集会委員会

- (1) 総会の開催
2022年9月6日（火）10:45-12:15，京都大学おうばくプラザ
- (2) 学術大会の開催
水文・水資源学会との合同大会（京都大学おうばくプラザ，ハイブリッド）
2022年9月4日（日）～9月7日（水）
- (3) 一般公開企画“身近な「水環境」”の開催
2022年9月4日（日）京都大学おうばくプラザ
- (4) 学術大会における優秀発表賞の選考および表彰
- (5) 大会の開催・運営（大会実行委員会との連携）
- (6) 次年度大会の開催に係る調整

E 企画・広報委員会

- (1) 研究ワーキンググループ 1件
SWATモデルの汎用性向上による流域環境評価への活用ワーキンググループ
代表：清水裕太（農研機構），申請額：5万円/年，期間：2年間（2021年7月～2023年6月）
- (2) 災害時緊急調査補助金 募集中
- (3) 地球惑星科学連合大会（JpGU2022）での共催セッション（2件）
 - ・4学会共催セッション「水循環，水環境」：福士圭介，林武司，飯田真一，岩上 翔
 - ・「流域圏生態系における物質輸送と循環：源流から沿岸海域まで」：安元 純，小林政広，奥田 昇，Adina Paytan
- (4) 地球惑星科学連合各種委員会委員の派遣・推薦（～2023.5.30）

・代表者	（会長）	谷口真人
・事務局	（庶務委員長）	宮下雄次
・連絡委員	（企画委員長）	利部 慎
・環境・災害対応委員会	（学会推薦）	林 武司
・プログラム委員会	（学会推薦）	榊原厚一・飯田真一
- (5) 学会ホームページの更新
- (6) メーリングリストを介した会員への情報共有
- (7) その他
 - ・マイページでの早期論文，会告・学会記事等の PDF アップ維持（編集・庶務委員会）

F 学会賞選考委員会

- (1) 学会賞選考委員会・委員の改選：改選済
- (2) 学術賞の選考
- (3) 研究奨励賞の選考: 2022年度該当論文無し
- (4) 功績賞の選考
- (5) その他学会で取りまとめる賞応募の窓口対応，および優先順位付け

G 名誉会員候補者推薦委員会

- (1) 名誉会員候補者の推薦: 2022年度は該当者無し

H 選挙管理委員会

2022年度は実施しない

2022年度予算書(案)

2022年4月1日から2023年3月31日まで

I. 収入の部

勘定科目		当年度予算額	前年度予算額	差	備考
大科目	小科目	A	B	A-B	
会費収入	正会員(一般) 会費	¥ 680,000	¥ 776,000	¥ -96,000	会費¥8,000 *85名分
	正会員(一般web) 会費	¥ 432,000	¥ 256,000	¥ 176,000	会費¥6,000 *72名分
	正会員(シニア) 会費	¥ 20,000	¥ 24,000	¥ -4,000	会費¥4,000 *5名分
	正会員(永年) 会費	¥ -	¥ -	¥ -	会費¥50,000
	正会員(永年web) 会費	¥ -	¥ -	¥ -	会費¥20,000
	学生会費	¥ 11,000	¥ 12,000	¥ -1,000	会費¥1,000 *11名分
	準会員会費	¥ 1,000	¥ 1,000	¥ -	会費¥1,000 *1名分
	購読会員会費 (書店販売含む)	¥ 156,000	¥ 156,000	¥ -	購読¥14,000*7
	賛助会員会費	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	一口¥20,000 3社5口
	小計		¥ 1,400,000	¥ 1,325,000	¥ 75,000
大会収入	大会収入	¥ 250,000	¥ 100,000	¥ 150,000	大会参加費など
雑収入	利息収入	¥ 21	¥ 26	¥ -5	
	学会データベース	¥ 100,000	¥ 60,000	¥ 40,000	著作権料
	バックナンバー売り上げ	¥ -	¥ -	¥ -	
	広告	¥ 70,000	¥ 70,000	¥ -	
	別刷り・カラー超過ページ	¥ -	¥ -	¥ -	
	寄付金	¥ -	¥ -	¥ -	
小計		¥ 170,021	¥ 130,026	¥ 39,995	
科目計		¥ 1,820,021	¥ 1,555,026	¥ 264,995	
前期繰越収支差額		¥ 3,720,404	¥ 3,720,404	¥ -	
合計		¥ 5,540,425	¥ 5,275,430	¥ 264,995	

¥ 100,000 2021年度実績
 ¥ 428,280 2021年度実績
 ¥ 23 2021年度実績
 ¥ 100,903 2021年度実績
 ¥ - 2021年度実績
 ¥ 70,000 2021年度実績
 ¥ - 2021年度実績
 ¥ - 2021年度実績

2022/4/1日現在

名誉会員 16
 正会員(一般) 会費 85 名
 正会員(一般web) 会費 72
 正会員(シニア) 会費 5 名
 正会員(永年) 会費 0
 正会員(永年web) 会費 0
 学生会費 11
 準会員会費 1 名
 購読会員会費 (書店販売含む) 7 団体
 賛助会員会費 3 団体
 正会員(シニアweb) 会費 6
 正会員(シニア請求なし) 会費 1
 197

Ⅱ. 支出の部

勘定科目		当年度予算額	前年度予算額	差	備考	
大科目	小科目	A	B	A-B		
大会支出	大会補助	¥ 250,000	¥ 200,000	¥ 50,000		¥ 250,000 2021年度実績
	大会追加補助	¥ -	¥ -	¥ -		
	プログラム,ホスター,要旨集印刷費	¥ -	¥ -	¥ -		
	交通費	¥ -	¥ -	¥ -		
	小計	¥ 250,000	¥ 200,000	¥ 50,000		
会誌発行費	会誌印刷費	¥ 800,000	¥ 900,000	¥ -100,000	年3冊,編集業務	¥ 773,399 2021年度実績
	通信運搬費	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	会誌送料等	¥ 56,768 2021年度実績
	会議費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ -	編集委員会(会議室料)	
	消耗品費	¥ 3,000	¥ 3,000	¥ -	編集用消耗品	
小計	¥ 913,000	¥ 1,013,000	¥ -100,000			
管理費	印刷費	¥ 5,000	¥ 5,000	¥ -	学会封筒,総会通知等	¥ - 2021年度実績
	通信運搬費	¥ 150,000	¥ 10,000	¥ 140,000	送料,レンタルサーバー	¥ 142,875 2021年度実績
	消耗品費	¥ 2,000	¥ 2,000	¥ -		¥ 936 2021年度実績
	会議費	¥ -	¥ -	¥ -	委員会(会議室料)	¥ - 2021年度実績
	交通費	¥ -	¥ -	¥ -	委員会旅費	¥ - 2021年度実績
	業務委託費	¥ 450,000	¥ 450,000	¥ -	会員業務,会誌発送業務	¥ 428,612 2021年度実績
	HP改修費	¥ -	¥ 410,000	¥ -410,000		¥ - 2021年度実績
	雑費	¥ 5,000	¥ 5,000	¥ -	振込手数料	¥ 1,896 2021年度実績
小計	¥ 612,000	¥ 882,000	¥ -270,000			
選挙費	選挙事務委託費	¥ -	¥ 50,000	¥ -50,000		
その他	ワーキンググループ補助ほか	¥ 50,000	¥ 50,000	¥ -		¥ - 2021年度実績
	地球惑星科学連合年会費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ -		¥ 10,000 2021年度実績
	HRL分担金	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -		¥ 100,000 2021年度実績
	表彰費	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ -	表彰記念品代	¥ - 2021年度実績
小計	¥ 180,000	¥ 180,000	¥ -			
科目計	¥ 1,955,000	¥ 2,325,000	¥ -370,000			
次年度繰越額	¥ 3,585,425	¥ 2,950,430	¥ 634,995			
合計	¥ 5,540,425	¥ 5,275,430	¥ 264,995			

収支

¥ -134,979 ¥ -769,974

日本水文科学会誌の発行形態の変更について

編集委員会委員長 飯田真一

第13期（2019-2021）および第14期（2022-2024）の複数の評議員から、当学会誌の紙冊子廃止の提案がなされた。当学会誌の現状については、50巻3号の飯田（2020）や51巻1号の樋口（2021）に詳しい。査読付き原稿種別（総説、原著論文、研究ノート、資料）の投稿数が減少しており、直近の2021年では、査読付き原稿の投稿は3編であった。このため、企画原稿や書評等の査読無し原稿を編集委員会の依頼によって準備し、学会誌を印刷する状況に陥っている。以上の状況を鑑み、編集委員会において今後の適切な発行形態に関して議論を行った。その結果、以下の発行形態を提案するものである。

- 紙冊子は廃止せず、年1回印刷
- 受理された原稿はJ-Stage上で即座に本公開
- J-Stageでは号は設定せず、年に1巻とし、受理原稿を逐次追加
- 12月に、J-Stageで当該年に公開されたすべての原稿、および掲載が必要な会告・学会記事・投稿規定・企業広告等を含む冊子体を印刷

この変更に伴う利点として、以下が挙げられる：

- J-Stage上で、即座に、全世界に向けて原稿が公開される
- 号を設定しないことにより、時期による原稿数の多寡の影響を受けない

支出	2021 実績 (年3号印刷とJ-Stage)
会誌印刷費	729,047
会誌通信運搬費	57,672
計	786,719

支出	2021をJ-Stage随時公開	2021年1回発行
会誌印刷費	136,752	393,690
会誌通信運搬費*		39,369
計	136,752	433,059

*国際文献社による個別の見積もりが困難であるため、会誌印刷費の1割と仮定

支出	J-Stage随時 + 年1回
計	569,811
2021実績との差	-216,908

購読会員、賛助会員、広告については、冊子印刷回数の減少により、会員数および収入が減少する可能性がある。常任委員会および評議員会において議論して頂き、新しい形式での発行を2023年の53巻から実施されることを希望する。

[補足情報]

重要な会告・学会記事の随時発送（レター形式）の利用を挙げておく。1回につき，約9万円でレター形式の印刷物を会員に発送できる見込みである。レター形式の印刷物に広告を印刷すれば，紙冊子発行数の減少による広告頻度減少を補うことができるかもしれない。

以上

(4) 学会誌発行形態変更に伴う会費、広告費の変更提案

常任委員長 樋口篤志

会計委員長 山中 勝

編集委員長 飯田真一

冊子体での学会誌の発行を年 3 回から年 1 回に変更するに伴い、購読会員費および広告費を 2023 年度より以下のように変更することを提案する。

購読会員費：現行額 年 14,000 円 → 年 8,000 円（正会員会費と同額）

広告費：現行額 年 40,000 円または 30,000 円 → 年 20,000 円または 15,000 円

本変更は学会誌発行形態変更が承認された年から変更する（2023 年度より）。

本変更に伴い

会則第三章（会員）中第 9 条 購読会員：年額 14,000 円 を 購読会員：年額 8,000 円へ変更する。

広告費は会則・同細則に記載されていないため、事務局を通じ該当企業に連絡する。

本会費の変更に伴い、購読会員は $(14,000 - 8,000) \times 7 = 42,000$ 円、広告は $70,000 - 35,000 = 35,000$ 円 の計 77,000 円の減収が想定される。一方、資料 6 の会誌発行回数減による支出減は 216,908 円であり、これに年 1 回のニュースレター送付（1 回につき約 9 万円）による支出を加えると 126,908 円であることから、会費・広告費の変更を行なっても（一連の変更による）収支は若干の黒字（正味約 5 万円 [49,908 円] のプラス）となる。特に年 1 回の冊子体発行で 14,000 円もの購読会員費は、一般的な相場から見て法外な価格設定であり、本変更と同時に修正を加えなければ本学会の信用に関わる問題に発展する可能性があると思われる。なお、年 1 回のニュースレターは夏頃に発行し、学術大会の情報と企業広告等を含めることを想定している。

以上

(日本学術会議が承認する) 学会 (日本学術会議協力学術研究団体) の要件

1. 学術研究の向上発達を主たる目的として、その達成のための学術研究活動を行っていること
2. 活動が研究者自身の運営により行われていること
3. 構成員（個人会員）が100人以上であり、かつ研究者の割合が半数以上であること
4. 学術研究（論文等）を掲載する機関誌を年1回継続して発行（電子発行を含む）していること

本学会会員の年齢構成

2021年度 (202名で確認)

75以上	18	53
70-74	18	
65-69	17	
60-64	23	81
55-59	26	
50-54	32	
45-49	16	45
40-44	17	23
35-39	12	
30-34	8	
25-29	12	
20-24	3	

現役
会員数：
149名

50歳
以下の
会員が
特に
少ない

2026年度 (5年スライド)

75以上	36	76
70-74	17	
65-69	23	
60-64	26	74
55-59	32	
50-54	16	
45-49	17	37
40-44	12	15+ α
35-39	8	
30-34	12	
25-29	3	
20-24	X	

現役
会員数：
126+ α 名

50歳以下
の会員が
さらに少
なくなる

学会期末資産の変遷, 前年比から概算した資産減の想定

年度	期末資産 (万)	前年比 (%)						
2012	577							
2013	473	82						
2014	506	107						
2015	542	107	1年後	5年後	10年後	15年後	20年後	25年後
2016	452	83	377	182	73	30	12	5
2017	416	92	384	277	185	123	82	55
2018	395	95	374	302	231	176	135	103
2019	380	96	366	315	261	217	180	149
2020	372	98	364	334	300	270	242	218
2021	353	95						
2017-2020 平均	391	95%	372	307	241	190	149	117
2017-2020 平均	391	98%	382	353	319	289	261	236

前年比 95% が従来の会費構成, 98% が今回提案する会費構成 (Web 会員を6000円へ2000円値上げに) 該当. ただし, 本概算は会員数が現状維持することを前提に試算している.

過去の学術大会（参加人数）の経緯

年（開催場所）	内訳	合計数
2021（合同）	会 49, 非会 60, 水水 261	391
2019（筑波大）	会 50, 学 5, 非会 30, 公開 20	105
2018（地球研）	会 47, 学 11, 非会 43	112
2017（駒澤大）	会 44, 学 5, 非会 43	95
2016（法政大）	会 46, その他 28	74
2015（産総研）	会 49, その他 98（中高生含）	148
2014（広島大）	会 49, 学 14, その他 41	104
2013（千商大）	会 52, 学 8, 非会 49	109
2012（温地研）	会 54, 学 9, 非会 32	95
2011（北大）	会 39, 学 7, その他 11	57

過去の学術大会（発表数）の経緯

年（開催場所）	内訳	合計数
2021（合同）		189
2019（筑波大）	□ 13, ポ 20, 公開 4 一般公開 5	42
2018（地球研）	□ 12, ポ 11, 公開 6+9 一般 8	46
2017（駒澤大）	□ 10, ポ 6, 30周年 5+11 一般 6	38
2016（法政大）	□ 9, ポ 7, 公開 6+10 一般 10	39
2015（産総研）	□ 14, ポ 12, 公開 6+6 一般 3	41
2014（広島大）	□ 15, ポ 20, 公開 5+8 一般 6+1	55
2013（千商大）	□ 11, ポ 8, 公開 6+6 一般 9+1	41
2012（温地研）	□ 12, ポ 15, 公開 7 その他 8	42
2011（北大）	□ 10, ポ 22, 企画 3 その他 10	45

□：口頭発表，ポ：ポスター，公開：公開シンポジウム（口頭＋ポスター），一般：一般公開企画（ポスター）